



屋久島一日トレセン



かごしまJRC

発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

青少年赤十字活動と
防災教育

青少年赤十字指導者協議会
会長 六 笠 登 由



近年想定外の自然現象により、日本各地で災害が起

こつています。東日本震災をはじめ、このような状況を踏まえ、日本赤十字社では、次の教材を作成し、配布しています。

○「まもるいのちひろめるぼうさい」
(全国の全ての学校に無料で配布)

○「ぼうさいまちがいさがしきけんはっけん!」
(全国の加盟団・所に無料で配布)

利用された先生方からは、「子供たちの危険予知能力を高めるとてもよい教材である。」と高い評価を得ています。

さて、昨年十一月、令和元年度の研究委嘱発表会を「ほびあこども保育園」で開催しましたところ、九州各県のJRC会長をはじめ多くの方々に御参加いただき

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

誠にありがとうございました。保育の中では、先生方や子供たちの笑顔がたくさん見られたととても好評でした。また、「きけんはっけん!」を活用した保育も今後の活用法について示唆に富んだ内容でした。

今後、JRC活動の輪を広げる様々な事業を実施してまいりますので、御協力の程よろしくお願いたします。

西郷隆盛と赤十字の心

鹿児島県青少年赤十字賛助奉仕団
委員長 野村 大 綱



慶応三年(一八六七年)、明治政府と徳川幕府の戦いで

江戸の治安を任されていた庄内藩は、攻め寄せられて来た新政府軍と戦い降伏する。庄内藩の人々は、どれほど厳しい降伏条件を突き付けられるのかと心配でならなかったが、新政府軍の参謀、薩摩藩の黒田清隆からは、驚くほどやさしく、ゆるやかな降伏条件が示

された。

黒田は藩主の上座に座って、一応の「言い渡し」を終えると、直ちに藩主の下座に回り、「役目のためにご無礼をしましたがお許し下さい。」と、実に礼儀正しく、威張った所が見えない。誠に武上道をわきまえた立派な態度であったので、庄内藩の人々はいたく心を動かされた。

明治二年(一八六九年)、庄内藩を代表して菅実秀が東京に出て来て、寛大な処置に対して黒田にお礼を言うと、「あれは西郷先生の指示でやったことです。庄内藩からすぐに帰ろうとされた時、先生を止めましたが、『戦いは終わればもうそれでいいよ。後は、同じ日本人。新しい日本を作る同志じゃないか。もう敵でも味方でもないよ。』とおっしゃったのです。」と言った。

正に、赤十字の人道、博愛の精神が、西郷隆盛という鹿児島人の偉人の心にあつたのです。青少年赤十字加盟校・団、指導者協議会、賛助奉仕団がその心を受け継いでいきたいものです。

第6ブロック

青少年赤十字海外派遣事業

- 派遣国 ベトナム社会主義共和国
- 期間 令和元年8月17日(土)~23日(金) 6泊7日
- 参加者 28名(九州各県)
本県参加者 3名
那加野翁士朗(鹿児島市立鹿兒島玉龍高等学校) 下窪 ゆり(県立甲南高等学校)
岩切輝行(指導者、霧島市立国分中学校)
- 主な活動 TOTOTOベトナム工場見学、ベトナム赤十字本社表敬訪問、ベトナムRCYメンバーとの交流、マングローブ植樹体験、クアンニン社会保護センター視察、世界遺産ハロン湾視察 など



ベトナム派遣を終えて

鹿児島県立甲南高等学校 下窪 ゆり

私がベトナム研修を希望したのは、自分の生き方を見つめ直し、変わるきっかけが欲しかったからです。経済も環境も密接に世界中が繋がっている今、広い視野で物事を考え、行動できる人間にならなければいけないと思っていました。

現地での様々な体験が私に衝撃を与えました。まさに「百聞は一見に如かず」です。まずは、道路いっぱいにあふれている無数のバイク、中には5人乗りをしている人たちもいました。信号は色が変わるまでの時間が表示されており、この仕組みを日本にも取り入れれば、信号待ちをする時のストレスが軽減できるのではないかと思います。町の中心部は人や物があふれ、活気に満ちていました。人々の明るい、温かな笑顔も心に残っています。

また、市場で見た衝撃的な光景、それは犬の肉が食用で売られていたことです。日本人の捕鯨が世界で問題視されますが、食文化の違いを理解することは、お互いを理解し、尊重することなのだと思います。

海外派遣事業に参加して

鹿児島玉龍高等学校 那加野 翁士朗

今回のベトナム研修は私にとって初の海外だったので、現地の方々とは交流できるのか、しっかりと過ごすことができるのか、派遣メンバーに選ばれたことの喜びよりも責任と不安の方が大きかったです。しかし、実際にはベトナムの方々はとても友好的で、ジェスチャーを交えながら多くの人と交流できました。

研修中に体験したことは、どれをとっても忘れ難い経験となりました。中でも最も印象的だったのは、マングローブ植林地

帯の視察の際に行った植林体験です。泥に足を取られて移動することだけでも大変でしたが、今回植えたマングローブの苗が将来成長した後、高潮等の災害の予防になることを考えると、頑張って作業をすることができました。

今回の研修で多くの異文化体験は、私を大きく成長させてくれました。最高の仲間と過ごしたこの7日間は一生忘れません。本当にありがとうございました。

今回の研修で多くの異文化体験は、私を大きく成長させてくれました。最高の仲間と過ごしたこの7日間は一生忘れません。本当にありがとうございました。



令和元年度 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

離島一日
トレセン

7月14日(日)
屋久島安房公民館

高等学校
トレセン

8月8日(木)~10日(土)
霧島自然ふれあいセンター

九州ブロック
指導者養成講習会

8月22日(木)~24日(土)
ホテルアクシアくしきの



各離島で研修の機会を「の思いで始めた屋久島トレセンも八島目となりました。今年度の屋久島トレセンでは四校、十六名の参加がありました。

印象的だったのは、地域奉仕団の方々の手厚い協力と一緒に参加して下さる姿、そして、小中学生がそれぞれに遠慮することなく自己発揮し、活発な取り組みが見られたことです。他校や他職種との交流の良い機会となった、との感想も多く出ていました。

後日、参加した生徒の保護者から「参加して良かった。自分の世界が広がった。」と子どもさんが喜んでいたり聞きました。また、早速の登録や百文字作文への参加などもありました。今回のトレセンをきっかけに、青少年赤十字への理解や取り組みが具体化されていけばと願います。

屋久島一日トレセンを振り返って
主任 ほぼのこも保育園 福元 浩子

■主な内容
青少年赤十字について、防災・災害安全プログラム、参加者発表、八島小学校、安房小学校、安房中学校、中央中学校



「気づき・考え・実行する」
この態度目標が高校生にはどのようになっているのか。参加者の目的や気持ちに徐々に変化が出てきた。前述のことを考えながら今年度のトレセンを計画した。高校生にまでなると「考え」「実行する」ことはある程度できるようになっている。と考えると、「気づき」に重点を置いて日程やプログラムを決める必要があると実感した。私たちが思っている以上に高校生は気づくことができている。今後はその「気づき」を伸ばし、「考え」「実行する」ことをこのびびと行うことができる場を提供できるように、これまでの固定概念を取り払って高校トレセンを行う必要があるのではないだろうか。

高等学校トレセン
主任 鹿児島県立高等学校 宿口 泰伸

■主な内容
青少年赤十字について、防災・災害安全プログラム、参加者発表、八島小学校、安房小学校、安房中学校、中央中学校



九州各県よりそれぞれの校種、またキャリアも異なる個性あふれる先生方に参加していただき、充実した講習会になりました。

それぞれの県で活動されている先生方なので、掲示板の活用もすぐに始まり、受講者からの呼びかけ等は一口目からあるなど、九プロならではの動きがありました。

様々な活動に積極的に取り組んでくださり、朝夕へのついでなどのV.Sでは、それぞれの県や校種の特徴を生かした進め方やレクを紹介してくださりました。また、ちよつとした時間でも情報交換を促すことができ、私たちスタッフも九州で進んだ取り組みを学ぶ場になりました。

最後に、スタッフだけでなく受講者の先生方、その他助言等くださった諸先生方のお力があり、本講習会を作り上げることができたことに感謝申し上げます。

九州ブロック指導者養成講習会
主任 鹿児島市立福平中学校 高崎 武士

■主な内容
青少年赤十字について、防災・災害安全プログラム、参加者発表、八島小学校、安房小学校、安房中学校、中央中学校

一日リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校

期日：令和2年1月25日(土)
内容：非常食炊き出し実習、グループワーク(いえまですごろく)、赤十字と青少年赤十字、ワークショップ等
参加校：名山、山下、坂元、皇徳寺、入来、谷山、米ノ津東、武、大龍、西原、川辺



中学校

期日：令和2年1月18日(土)
内容：非常食炊き出し実習、グループワーク(いえまですごろく) 青少年赤十字と生徒会活動、私たちの生徒会(ボランティア)活動、ワークショップ等
参加校：甲東、伊敷、吉野、武、福平、生冠、山田、国分、米ノ津、出水、加世田、松元、谷山、阿久根



高等学校

期日：令和2年3月8日(日)
内容：非常食炊き出し実習、春季総会、プログラム等
参加校：鹿児島玉龍高校、鳳凰高校、鹿児島水産高校、指宿高校、鹿児島女子高校、甲南高校、鹿児島情報高校



加盟校(園)数(3月1日現在)

保育園(34) 幼稚園(38)
 小学校(304) 中学校(128)
 小・中一貫校(3)
 高等学校(23)
 特別支援学校(4)
 計 534校(園)

★令和元年度新規加盟校(園)★

【保育園】	川野	(1園)
【幼稚園】	桜ヶ丘中央	(1園)
【小学校】	川辺、笠沙、田布施、川畑、神山、亀徳	(6校)
【中学校】	錫山、松元、宮之城、松山、安房	(5校)
【小・中一貫校】	東郷学園	(1校)
以上		計14校(園)

NHK海外たすけあい募金活動

令和元年12月1日(日)から25日(水)まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンが実施されました。

「NHK海外たすけあい」は、世界各国で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人を救うために、NHKと日本赤十字社が共同で実施しているものです。

青少年赤十字のメンバーは、日赤鹿児島県支部が県内6会場(鹿児島市2会場、南さつま市、薩摩川内市、始良市、鹿屋市)で実施した街頭キャンペーンに、青少年赤十字賛助奉仕団、赤十字地域奉仕団などと街頭募金活動の呼びかけを行いました。

延べ184名で街頭に立った今年は、総額428,133円でした。

ご協力ありがとうございました。

